

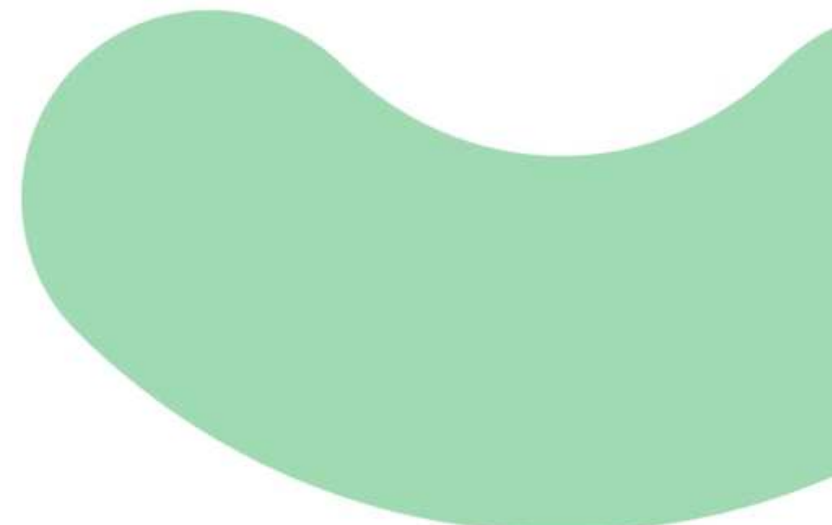


# 2020年3月期 第1四半期 決算説明資料

---

ウェルビー株式会社

証券コード：6556



## 1. 会社・事業概要

## 2. 2020年3月期第1四半期決算の概要

## 3. Appendix

### a. 2020年3月期の業績予想概要

### b. その他のトピック

## 経営理念

全従業員の自己実現と幸福を追求するとともに、  
すべての人が「希望」を持てる社会の実現に向けて

## 発行済株式数／株主数 (2019年3月31日時点)

発行済株式数 **27,600 千株**  
株主数 **4,508 名**

## 事業内容

### 障害福祉サービス事業

#### ① 就労移行支援事業：

就労移行支援事業所：68センター

就労定着支援事業所：51センター

特定相談支援事業所：3センター

埼玉県委託発達障害者就労支援センター：2センター※1

自立訓練（生活訓練）事業所：1センター ※2

#### ② 療育事業：

児童発達支援事業所：22教室

放課後等デイサービス事業所：6教室

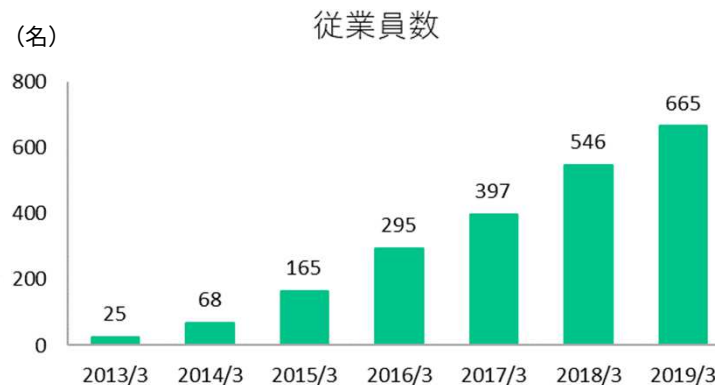
※1 以下「ジョブセンター」と称する

※2 以下「ウェルビーチャレンジ」と称する

## 従業員数

**693名**

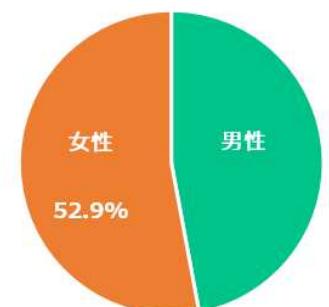
臨時従業員、パートタイマーは除く



### 従業員の男女割合



### 管理職の男女割合



- 2011年12月 ● **設立**
- 2012年4月 ● **就労移行支援事業**を開始 ウェルビー西船橋センターを開設
- 2012年11月 ● **3センター**同時設立 ウェルビー航空公園駅前センター、新越谷駅前センター、松戸センター
- 2014年6月 ● **未就学児向け**に療育事業を開始（児童発達支援事業） ハビー川越教室を開設  
**発達障害者**に特化した就労支援事業を開始 ジョブセンター草加を開設
- 2015年4月 ● **関東圏以外**への進出開始 ウェルビー名古屋駅前センターを開設
- 2016年11月 ● **小中高生向け**に療育事業開始（放課後等デイサービス事業） ハビープラス川越教室を開設
- 2017年10月 ● **東証マザーズ**上場
- 2018年4月 ● **就労定着支援事業**を開始 新大阪センター・荻窪駅前センターを開設
- 2019年4月 ● **ウェルビーリンク**を設立 当社完全子会社。企業向けに障害者雇用の総合的なコンサルティング業務を提供
- 2019年6月 ● **96拠点**を運営  
\*主要3事業所（ウェルビー、ハビー、ハビープラス）の合計

## ■ 未就学児から成人までの年齢層に対して、隙間のない障害福祉サービスを提供

### 就労移行支援事業（18歳以上65歳未満）

就労希望障害者への職業訓練、求職活動支援、職場定着支援

#### ・ ウェルビー

「障害者総合支援法」に基づくサービス  
就労移行支援事業所の運営



#### ・ その他

就労定着支援事業所、特定相談支援事業所、  
ジョブセンター、ウェルビーチャレンジの運営

### 療育事業（18歳以下）

障害児への成長・発達の支援・指導

#### ・ ハビー

「児童福祉法」に基づくサービス  
児童発達支援事業所（未就学児向け）の運営



#### ・ ハビープラス

「児童福祉法」に基づくサービス  
放課後等デイサービス事業所（小中高生向け）の運営

大人

就労移行支援事業所



小  
・  
中  
・  
高生

放課後等デイサービス事業所

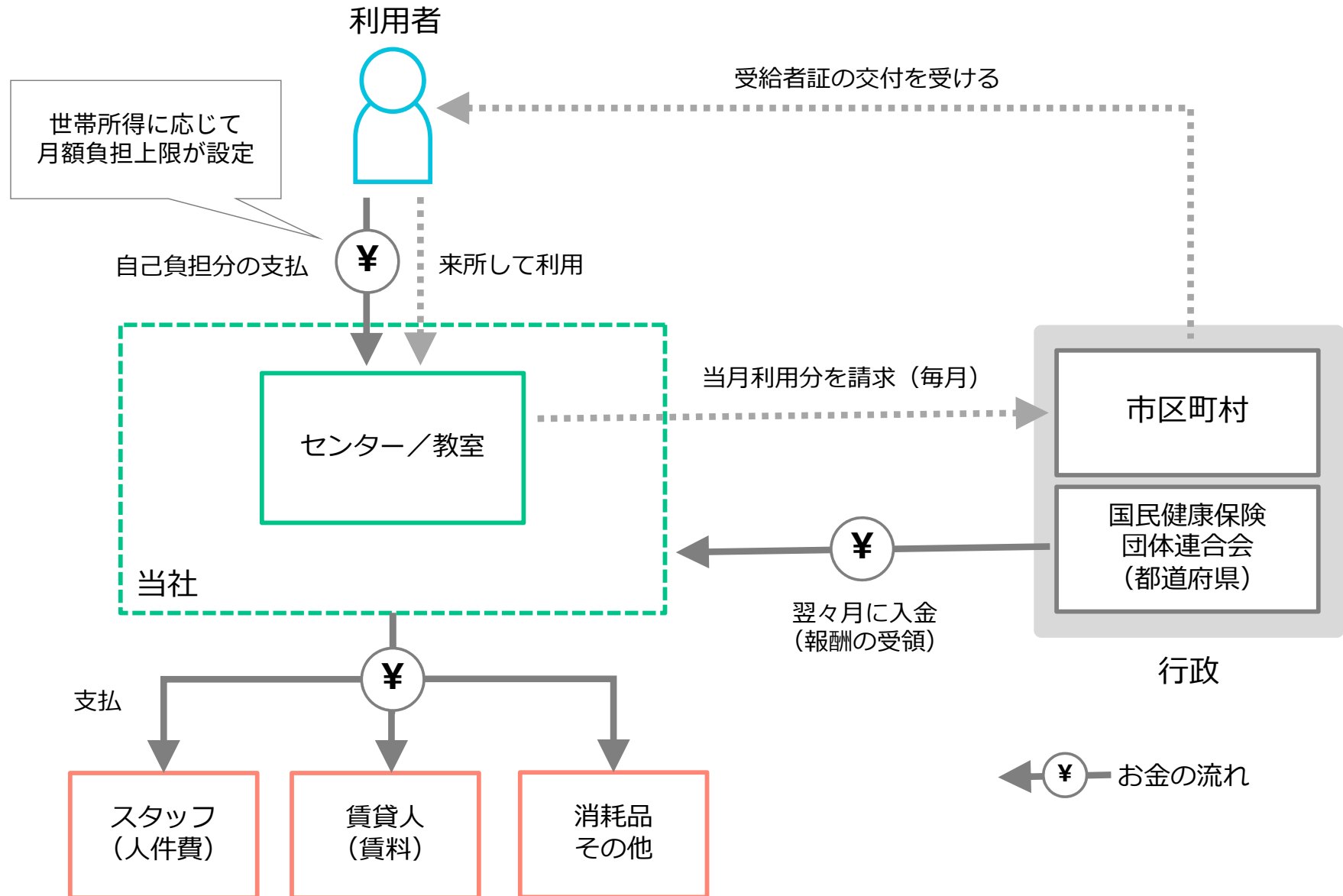


未  
就  
学  
児

児童発達支援事業所



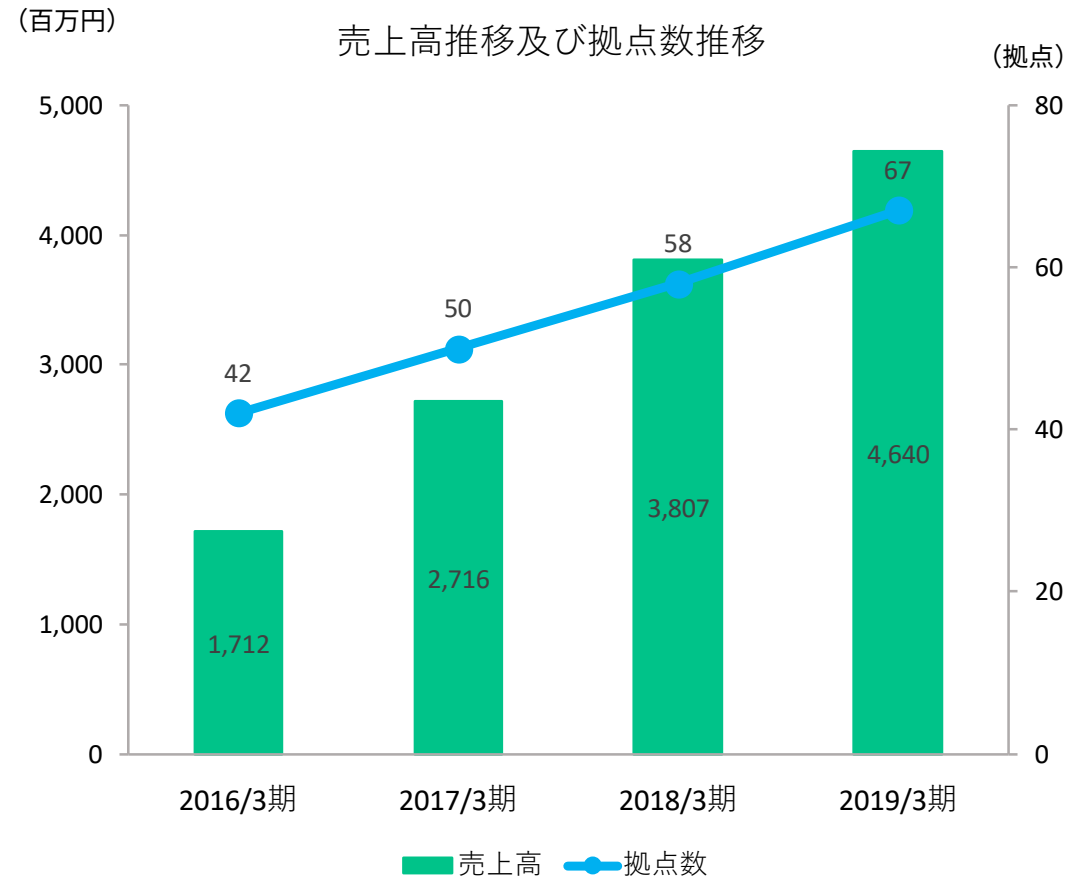
## ■ 利用者の利用日数に応じて、行政および利用者から報酬を受領するビジネスモデル



首都圏を核に全国規模で事業所の開設が進行

就労移行支援事業所  
「ウェルビー」  
全国の事業所数 **68**拠点

(2019年6月30日現在)



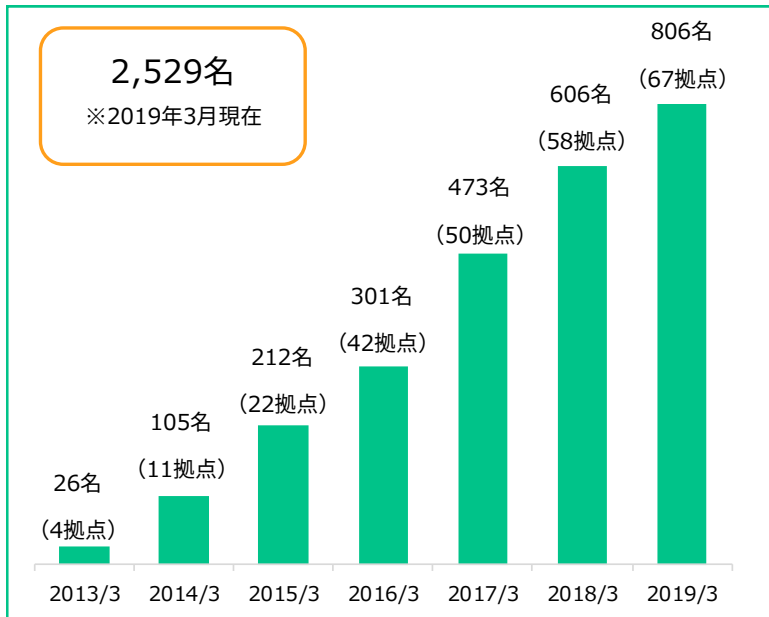
※括弧内の数字は、定着支援事業所を併設しているウェルビーの事業所数

出所：当社HPより

## ■ 就労先担当者と定期的な連絡・相談を通じて、職場定着をサポート

- ✓ 障害特性及び配慮の方法、職場での接し方や指示の出し方等、利用者の業務習得に向けたアドバイス

### 年度別就職者数

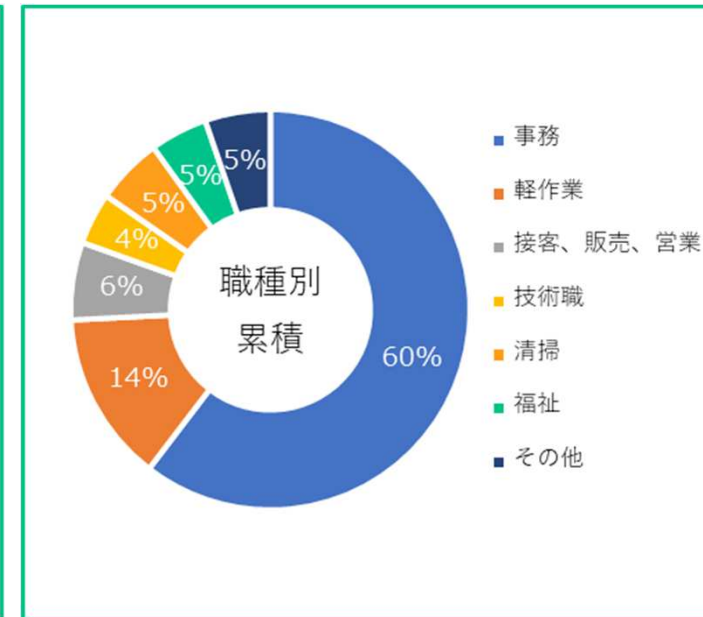


### 疾患別就職実績割合



※ うつ病～不安障害までの精神疾患で74%

### 職種別就職先割合



※事務職が多く70%以上の方が未経験職種に就職

直近1年間の6ヶ月定着率

# 87.2%

※2017年10月～2018年9月の間に当事業所を経て就職した利用者のうち、6ヶ月以上就労定着した者の割合

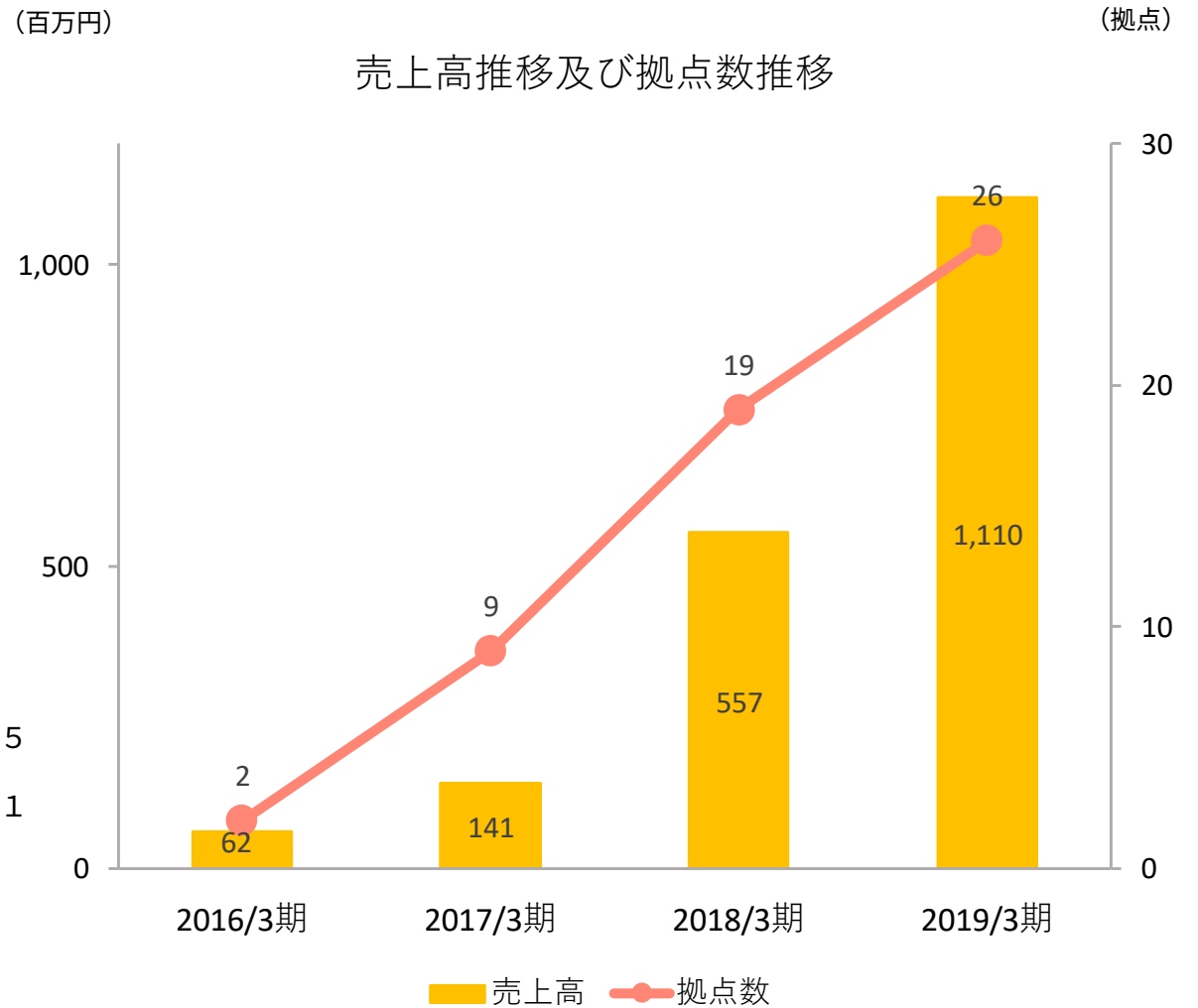


## 首都圏から教室の新設を推進

**ハビー**  
全国の教室数 **22** 拠点

**ハビープラス**  
全国の教室数 **6** 拠点

(2019年6月30日現在)



## ① 業務マニュアルの整備及び内部監査

業務マニュアルの整備・運用により、一定以上のサービス品質を確保

内部監査による有効性の評価

## ② 地域連携・地域密着

事業所のある地域の公共団体・障害福祉機関、病院、教育機関等、関連諸機関との連携

展開地域での強固なネットワークを構築

## ③ サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の養成・輩出

同責任者の開所時点での配置が義務化(※)され、人材確保が一層困難に

当社は、社内から養成・輩出が可能

※2018年3月31日までに新規指定を受けた場合、事業開始後1年間は、猶予期間として、本来必要な研修が未修了でも、同責任者として配置することが可能であった。

## ①研究成果を学会等で発表

発表時期	学会名・発表会名	発表内容
2017年11月	第25回 職業リハビリテーション研究・実践発表会	精神障害者・発達障害者の職場定着について就労移行支援事業所が行う企業支援の試み・調査発表
		就労移行支援事業所における集団認知行動療法に基づいたプログラム効果② —プログラムへの動機付けを高める—
		埼玉県発達障害者就労支援センター ジョブセンター草加 事例報告 —もしかして発達障害かも？ から受けられる支援の形—
		就労移行支援事業所における障害者の職場定着支援に関する実績報告 —ウェルビー高崎駅前センターの取り組み—
2017年12月	就労支援フォーラムNIPPON2017	精神障害者の訓練継続に向けた取り組み —集団認知行動療法に基づいたプログラムについて—
2018年11月	第26回 職業リハビリテーション研究・実践発表会	仕事の模擬体験プログラム『企業実践』の提供方法に関する取り組み—生きたプログラム運営をめざして—
		就労移行支援事業所におけるセルフモニタリングシートを活用した介入—躁状態の兆候に対処し、訓練継続に至った事例—
		就労移行支援事業所におけるセルフモニタリングシートを活用した介入—自己効力感を高め、職業準備性が向上した事例—
2018年12月	就労支援フォーラム N I P P O N 2018	職場にふさわしい役割行動を育むために就労移行でできること—仕事の模擬体験プログラム『企業実践』を通じて—
	日本精神障害者リハビリテーション学会 第26回東京大会	就労移行支援事業所におけるセルフモニタリングシートの活用—自己効力感を高める関わりを通して就労準備性が向上した事例—
2019年2月	第38回 日本社会精神医学会	超簡易型認知行動療法を活用した社内メンタルヘルス研修—支援員のストレス対処能力向上を目指して—

## ②実践報告会 (Wel-1cup)の実施

- ✓ 各事業所独自の実践や成功事例を発表
- ✓ 社内全体でノウハウを共有することで、支援力の向上を目指す

## ③就労フォーラムの開催 (年1回)

- ✓ 障害者就労をテーマとした大規模イベント
- ✓ 参加者は関連支援機関、行政、企業の担当者、利用者及びOB、OG等
- ✓ 基調講演やパネルディスカッション、プログラム体験会等を実施



■ 企業に対して、障害者雇用の総合的なコンサルティング業務を提供する「ウェルビーリンク」を設立



企業と障害をもつ人とのマッチングを行い、  
お互いに良い循環を生み出し、発展していくという思いを、  
このロゴマークに込めております。



## 会社概要

- 商号 ウェルビーリンク株式会社  
(英文名 Welbe Link Inc)
- 代表 浜地裕樹 (当社専務取締役を兼務)
- 資本金 500万円 (ウェルビー100%出資)
- 設立日 2019年4月25日
- ホームページ公開  
(<https://www.welbe-link.co.jp/>)

## 事業概要

- 職務選定・創出サポート
- 企業向け研修
- 障害者向け個別サポート
- 人材紹介 (有料職業紹介事業の許可申請中)
- サテライトオフィスの運営

- 20歳以上65歳未満の在宅の精神障害者数は2,019千人
- 日本の生産年齢人口の約2.6%

	総数	在宅者	(千人)	
			18歳以上 65歳未満 ※	施設入居者 身体・知的障害者 更生施設等入所者や 入院患者
身体障害児・者	4,360	4,287	1,013	73
知的障害児・者	1,082	962	580	120
<b>精神障害者</b>	3,924	3,611	<b>2,019</b> (20歳～65歳未満)	313
総計	9,366	8,860	3,611	506

※ 日本の生産年齢人口：75,458千人（2018年11月1日現在）

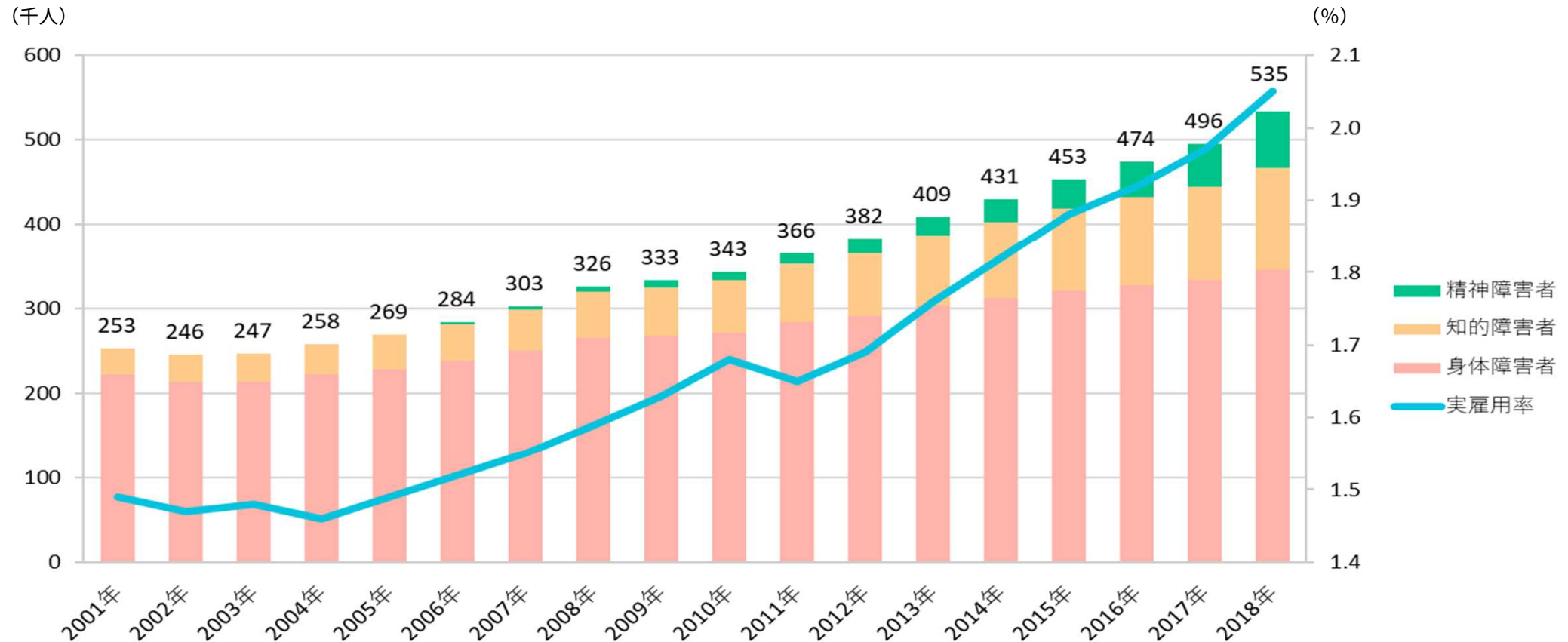
出所：平成30年版 障害者白書（内閣府）、人口推計平成31年4月報（総務省統計局）より当社作成

■ 雇用障害者数、実雇用率ともに過去最高を更新、雇用障害者数は15年連続で過去最高

■ 2018年4月より法定雇用率を2.2%に引き上げ、2020年度更に2.3%に引き上げ

■ 「働き方改革実行計画の決定は、日本の働き方を変える改革にとって、歴史的な一歩」

実行計画指標：就労移行支援事業所等の利用を経て一般就労へ移行する者を2020年度までに2016年度実績の1.5倍以上（第10回働き方改革実現会議（2017年3月28日）における総理発言等より抜粋）

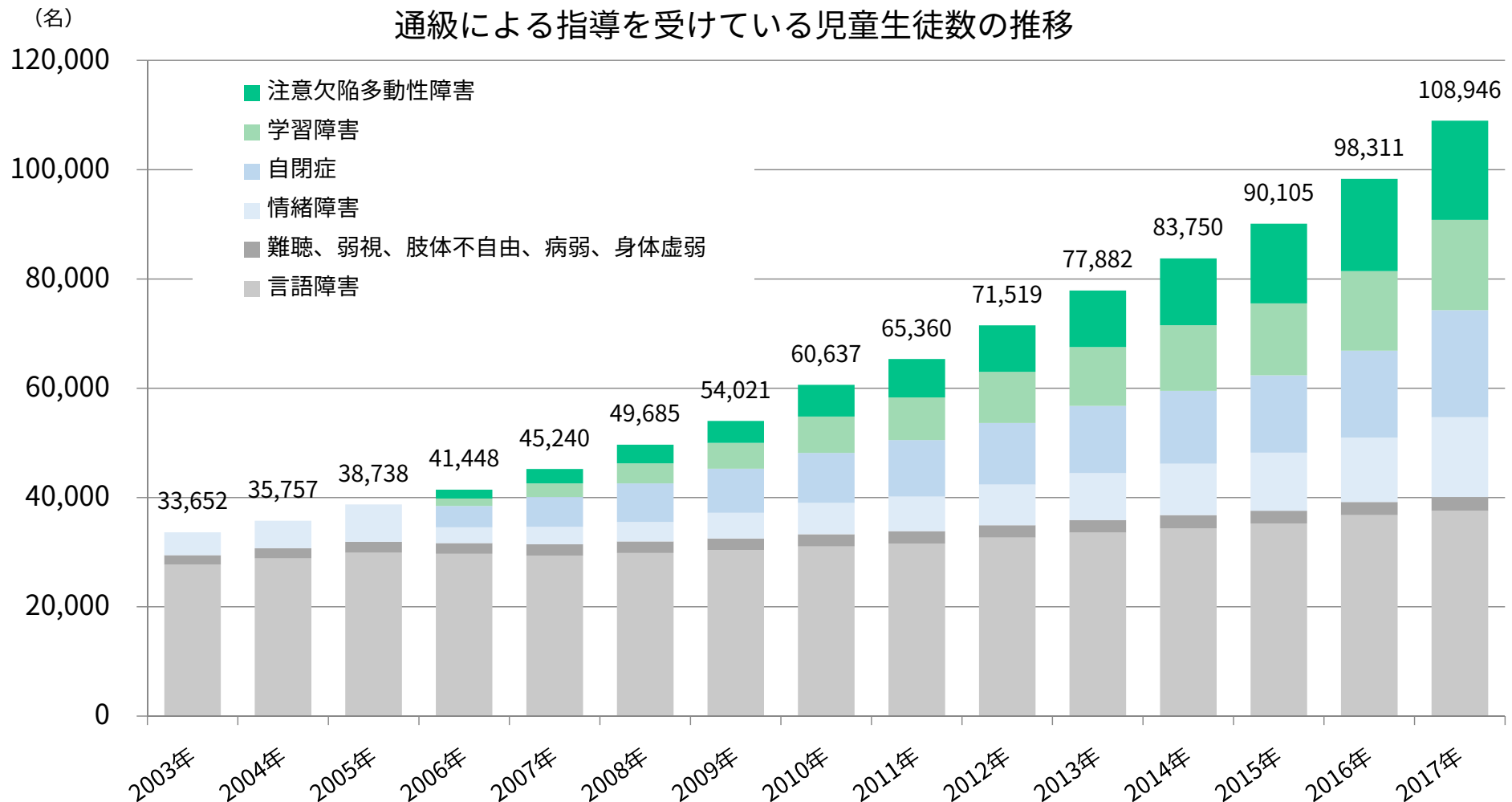


出所：厚生労働省：平成30年 障害者雇用状況の集計結果

■ 通常学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒数の割合 6.5% (2012年12月 文部科学省調べ)

■ 通級 (※) による指導を受けている児童生徒数は年々増加

※通級：障害に応じた個別指導



出所：文部科学省：平成29年度通級による指導実施状況調査結果について

1. 会社・事業概要
2. 2020年3月期第1四半期決算の概要
3. Appendix
  - a. 2020年3月期の業績予想概要
  - b. その他のトピック



## 決算概要

### ■売上高15.9億円、営業利益4.4億円、経常利益4.4億円、純利益2.8億円

- ✓ 前年同四半期比で売上高15.7%増、営業利益21.2%増、経常利益21.4%増、純利益23.7%増
- ✓ 売上高営業利益率27.6%、売上高経常利益率27.6%

### ■業績予想に対して、順調に進捗

- ✓ 2020年3月期は、売上高67.4億円、営業利益17.9億円、経常利益17.9億円、当期純利益12.2億円を予想
- ✓ 通期業績予想に対する進捗率は、売上高23.6%、営業利益24.5%
- ✓ 半期業績予想に対する進捗率は、売上高48.9%、営業利益50.3%

### ■前年同四半期に対して、営業利益率は+1.3%

- ✓ 売上高は、就労移行支援事業では10%増、療育事業では48%増。新規拠点、既存拠点のいずれも、利用者を順調に獲得
- ✓ 売上原価は、17%増(1.4億円)。拠点数増加に伴う人件費の増加が主な要因
- ✓ 販売費及び一般管理費は、前年同四半期並み。売上高販管費率は、2.0%改善

## 事業の展開

### ■出店の状況

- ✓ 期初計画においては、就労移行支援事業所6拠点、療育事業所6拠点、合計12拠点を開設予定
- ✓ 第1四半期においては、就労移行支援事業所1拠点、療育事業所2拠点、合計3拠点を開設

### ■ウェルビーリンク

- ✓ 1,000万円を出資し、当社100%子会社であるウェルビーリンクを4月に設立
- ✓ 企業に対して、障害者雇用の総合的なコンサルティング業務を提供する予定
- ✓ 有料職業紹介（人材紹介業）の許可申請中

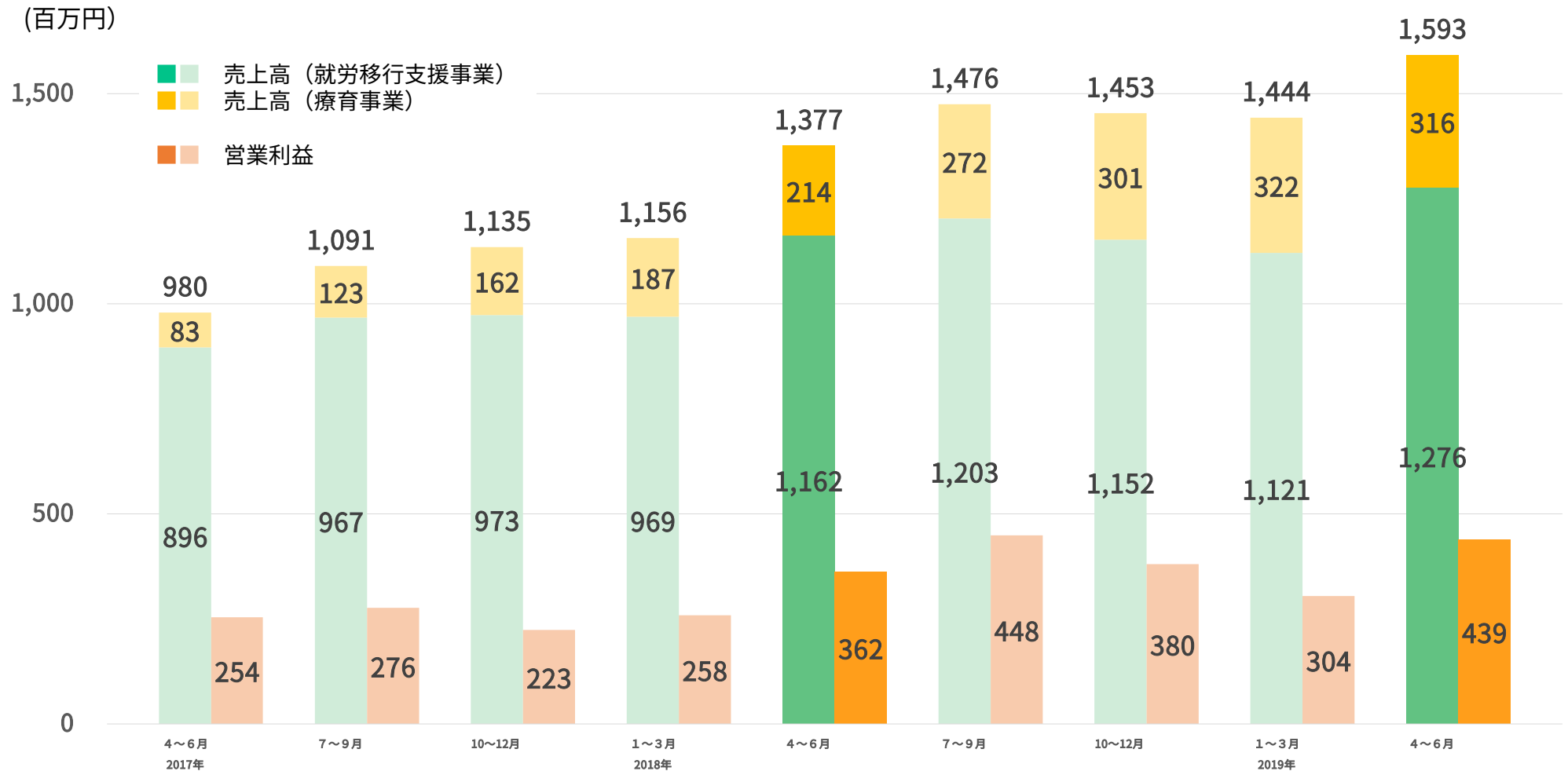
■ 第1四半期では、売上高、各段階利益ともに順調に推移

✓ 前年同四半期実績と比較して、売上高2.2億円増、営業利益0.8億円増、経常利益0.8億円増、純利益0.5億円増

科 目	2020年3月期 1Q		2019年3月期 1Q		前年同四半期比	
	Apr. - June		Apr. - June		増減額 (百万円)	増減率
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比		
売上高	1,593	100.0%	1,377	100.0%	216	15.7%
売上総利益	649	40.8%	571	41.5%	78	13.6%
営業利益	439	27.6%	362	26.3%	76	21.2%
経常利益	440	27.6%	362	26.3%	77	21.4%
純利益	277	17.4%	224	16.3%	53	23.7%

## ■ 売上高、営業利益ともに、順調に推移

- ✓ **就労移行支援事業** / 定着実績の向上により、基本報酬が増加。前四半期比(2019年1~3月)で売上高は伸長
- ✓ **療育事業** / 卒園、卒業があり、1Qは利用者数が減る傾向があるものの、前四半期比で同水準を維持



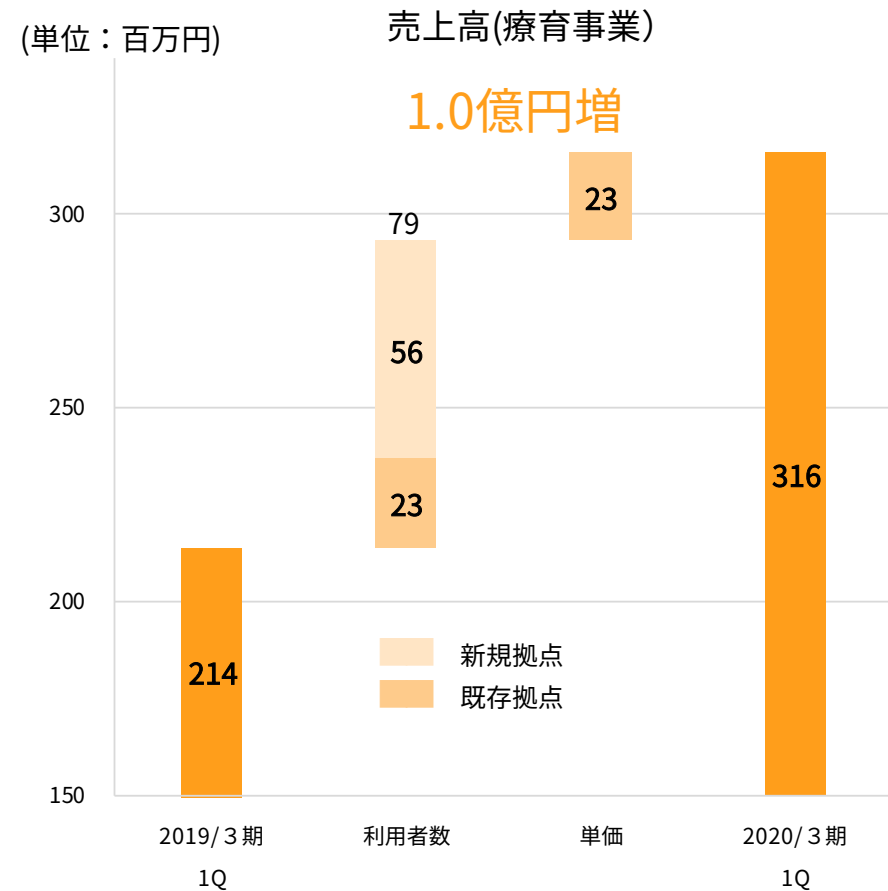
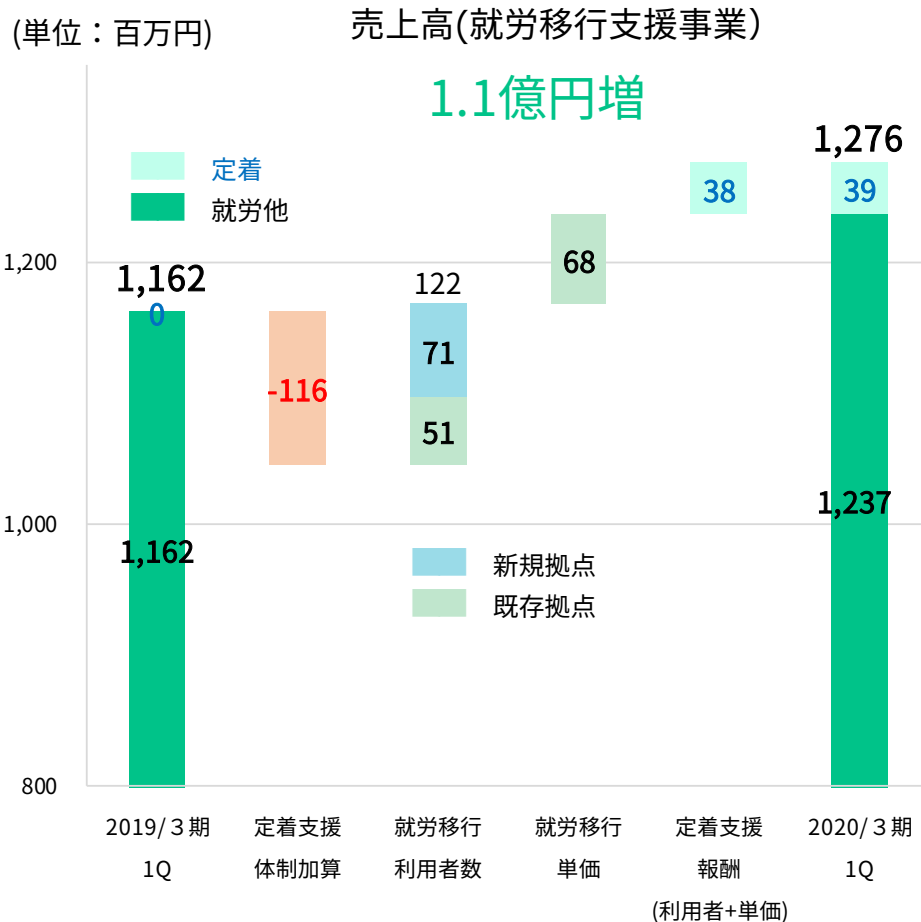
## ■ 業績予想に対し、第1四半期の進捗率は順調に推移

- ✓ 2Q以降に向けて、計画している出店の開設費用の計上を予定する一方で、既存拠点の稼働率が高まっていくことで、業績は堅調に推移するものと想定

科目	2020年3月期	2020年3月期		2020年3月期	
	1Q実績	通期予想		2Q予想	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	進捗率	金額 (百万円)	進捗率
売上高	1,593	6,737	23.6%	3,257	48.9%
営業利益	439	1,788	24.5%	873	50.3%
経常利益	440	1,787	24.6%	872	50.4%
純利益	277	1,216	22.8%	562	49.3%

■ **就労移行支援事業**の売上高は前年同四半期比で10%増、**療育事業**の売上高は前年同四半期比で48%増

✓ 新規拠点、既存拠点のいずれも、利用者を順調に獲得し、売上に貢献



※上記の売上高の増減要因分析におけるそれぞれの項目は、簡易的に算出した内部管理用の参考値です。

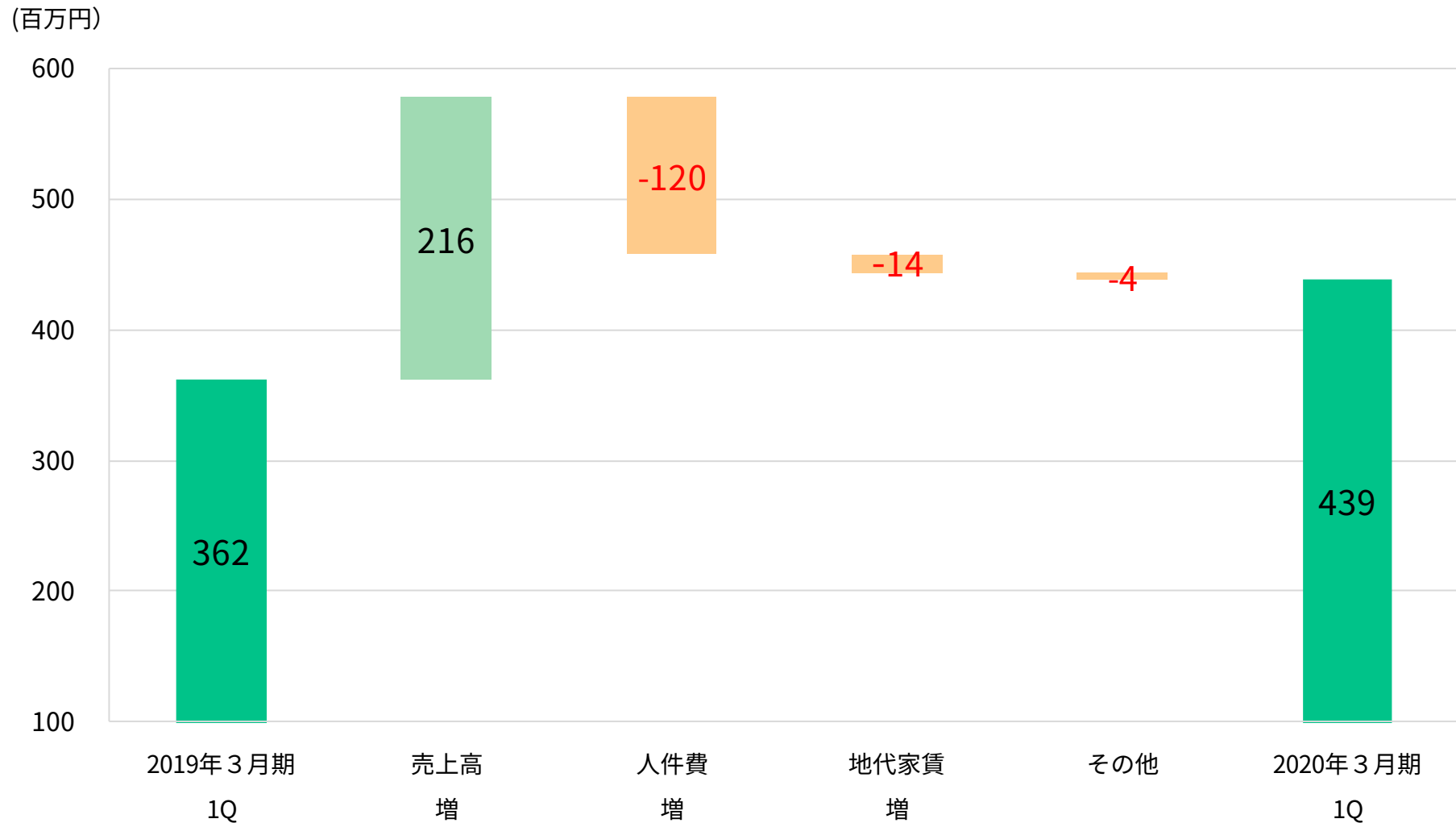
※差異分析「利用者数」における「新規拠点」の金額は、前年度7月以降に開所した事業所（就労6拠点、療育5拠点）の利用者数を対象として算出しております。

## ■ 売上原価は138百万円増加したものの、販管費は前年同四半期並み。営業利益率は向上

- ✓ 売上原価の増加の大部分を占めるのは、拠点数増加に伴う人件費の増加
- ✓ 売上高原価率は0.7%上昇(総利益率の減少)。前期は、9月まで、期間限定の加算(定着支援体制加算)が設定されていたため
- ✓ 販管費は、前年同四半期から変化無し。売上高販管費率は、2.0%改善

科 目	2020年3月期 1Q		2019年3月期 1Q		前年同四半期比 増減額 (百万円)	
	Apr. - June		Apr. - June			
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比		
売 上 高	1,593		1,377		+216	
売 上 原 価	人 件 費	681	72.2%	561	69.7%	+120
	地 代 家 賃	95	10.2%	82	10.2%	+13
	そ の 他	166	17.6%	162	20.1%	+4
	合 計	943	100.0%	805	100.0%	+138
売 上 原 価 率		59.2%		58.5%	+0.7%	
売 上 総 利 益	649		571		+78	
販 管 費	人 件 費	96	45.6%	96	45.9%	+0
	租 税 公 課	37	17.8%	36	17.4%	+1
	そ の 他	77	36.5%	76	36.7%	+0
	合 計	210		209		+1
売 上 高 販 管 費 率		13.2%		15.2%	-2.0%	
営 業 利 益	439		362		+76	
営 業 利 益 率		27.6%		26.3%	+1.3%	

■ 営業利益は前年同四半期比で77百万円増加



※上記の営業利益の増減要因分析における金額は、売上原価と販売費及び一般管理費の合計となります。

- 資産は、配当金及び法人税等の支払による現金及び預金の減少等に伴い減少
- 負債は、未払法人税等の減少等により減少
- 自己資本比率は、76.9%に改善

科目	2020年3月期 1Q		2019年3月期		増減	増減率	流動資産の増減要因	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比			現金及び預金の減少 (-266百万円)	売上増に伴う売掛金の増加 (+94百万円)
流動資産	2,747	78.2%	2,919	78.8%	-172	-5.9%	固定資産の増減要因	
固定資産	764	21.8%	787	21.2%	-23	-2.9%	・繰延税金資産の減少 (-24百万円)	
総資産	3,511	100.0%	3,707	100.0%	-195	-5.3%	負債の増減要因	
負債	810	23.1%	1,167	31.5%	-357	-30.6%	・未払法人税等の減少 (-205百万円)	
(負債のうち、社債及び借入金の残高)	(338)	(9.6%)	(383)	(10.3%)	(-45)	(-11.8%)	・社債及び借入金の支払いによる減少 (-45百万円)	
純資産	2,701	76.9%	2,539	68.5%	+161	6.4%	・賞与引当金の減少 (-29百万円)	
自己資本比率	76.9%		68.5%			8.4%	純資産の増減要因	
							・純利益計上による利益剰余金の増加 (+277百万円)	
							・配当金支払いによる利益剰余金の減少 (-115百万円)	



## ■ 出店の状況

- ✓ 第1四半期の新規開所は、就労移行支援事業所（ウェルビー）が1拠点、  
療育事業所が2拠点（ハビー1拠点、ハビープラス1拠点）
- ✓ 第1四半期末の運営事業所数は、ウェルビーが68拠点、ハビーが22拠点、ハビープラスが6拠点
- ✓ 期初計画においては、今期は、就労移行支援事業所6拠点、療育事業所6拠点、計12拠点を開設予定

## ■ ウェルビーリンク

- ✓ 4月に、当社100%子会社である「ウェルビーリンク」を設立
- ✓ 企業に対して、障害者雇用の総合的なコンサルティング業務を提供
- ✓ 有料職業紹介事業（人材紹介業）の許可申請中
- ✓ 今期は非連結の予定

## 出店の状況



### 就労移行支援事業所（ウェルビー）

2019年4月 新潟センター  
2019年9月 草加駅東口センター(予定)



### 児童発達支援事業所（ハビー）

2019年6月 津田沼教室



### 放課後等デイサービス事業所（ハビープラス）

2019年4月 松戸教室

## ウェルビーリンク



- 設立日は、4月25日
- 出資金として、1,000万円
- 有料職業紹介事業（人材紹介業）  
許可申請中
- サテライトオフィス  
開設準備中
- ホームページ公開  
(<https://www.welbe-link.co.jp/>)
- 今期は非連結の予定

1. 会社・事業概要
2. 2020年3月期第1四半期決算の概要
3. Appendix
  - a. 2020年3月期の業績予想概要
  - b. その他のトピック

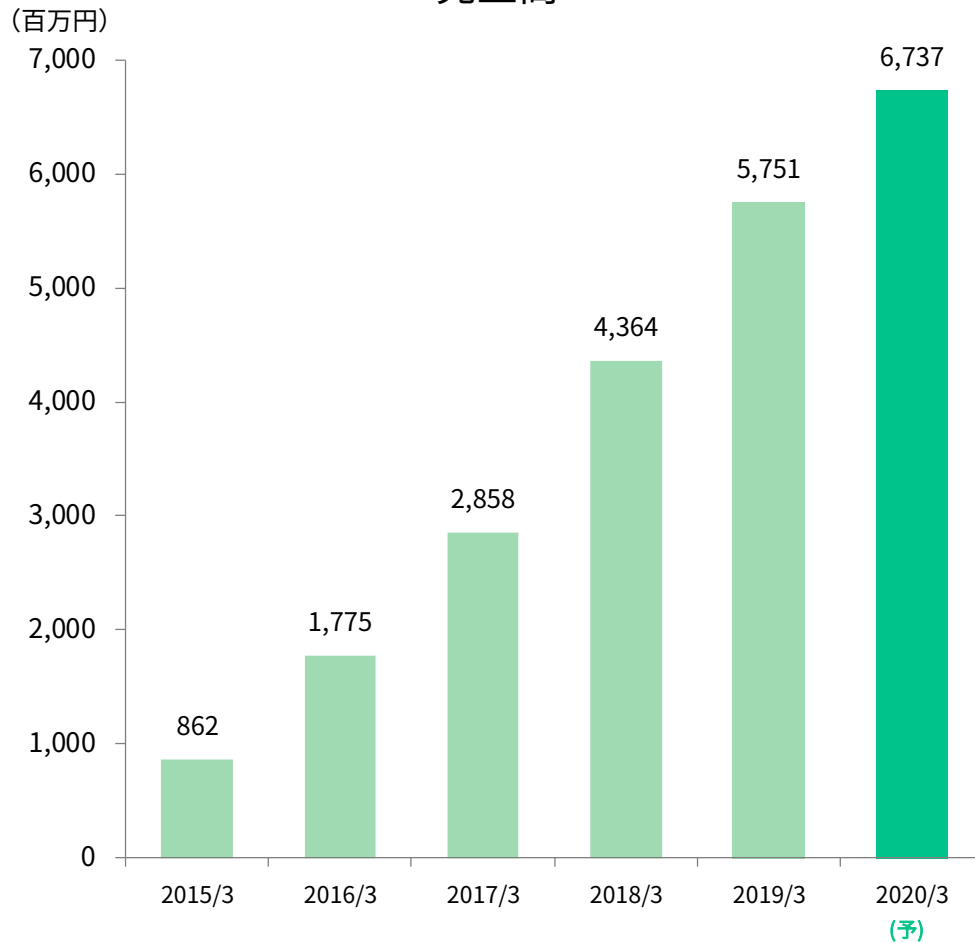
- 2020年3月期は、売上高67.4億円、営業利益17.9億円、経常利益17.9億円、当期純利益12.2億円と予想
- 新規出店は、就労移行支援事業所6センター、療育事業所6教室、計12拠点を予定
- 就労移行支援事業、療育事業ともに、利用者数は順調に推移していくものと予想  
就労移行支援事業では、19年3月期と同等以上の定着実績を残せたため、基本報酬は上昇

(単位：百万円)

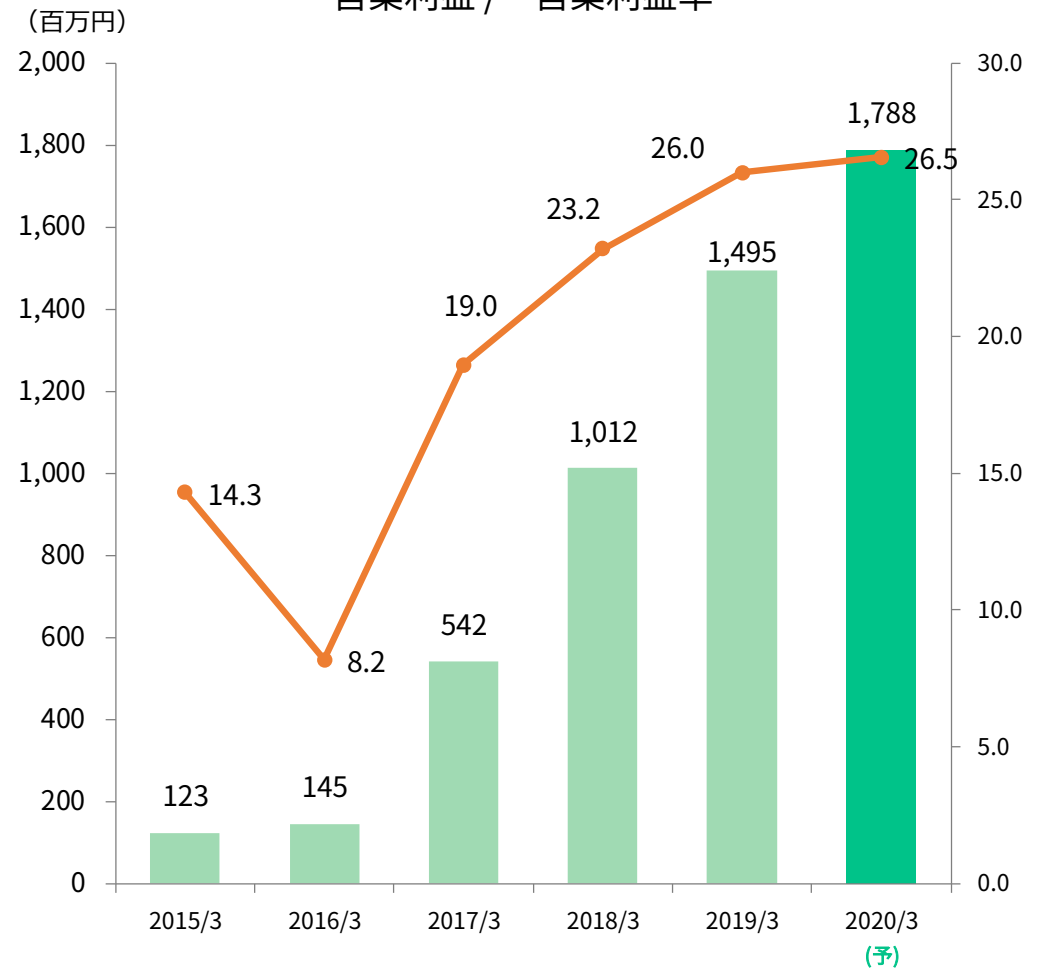
科 目	2020年3月期		2019年3月期		増減額	増減率
	通期予想		実績			
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比		
売 上 高	6,737	100.0%	5,751	100.0%	+986	+17.2%
営 業 利 益	1,788	26.5%	1,495	26.0%	+293	+19.6%
経 常 利 益	1,787	26.5%	1,471	25.6%	+315	+21.5%
当 期 純 利 益	1,216	18.1%	991	17.2%	+224	+22.6%

■ 売上高67.4億円（前年同期比17.2%増）、営業利益17.9億円（前年同期比19.6%増）、営業利益率26.5%  
 ■ 売上高は増収基調、営業利益は増益基調、営業利益率は同水準を維持

### 売上高



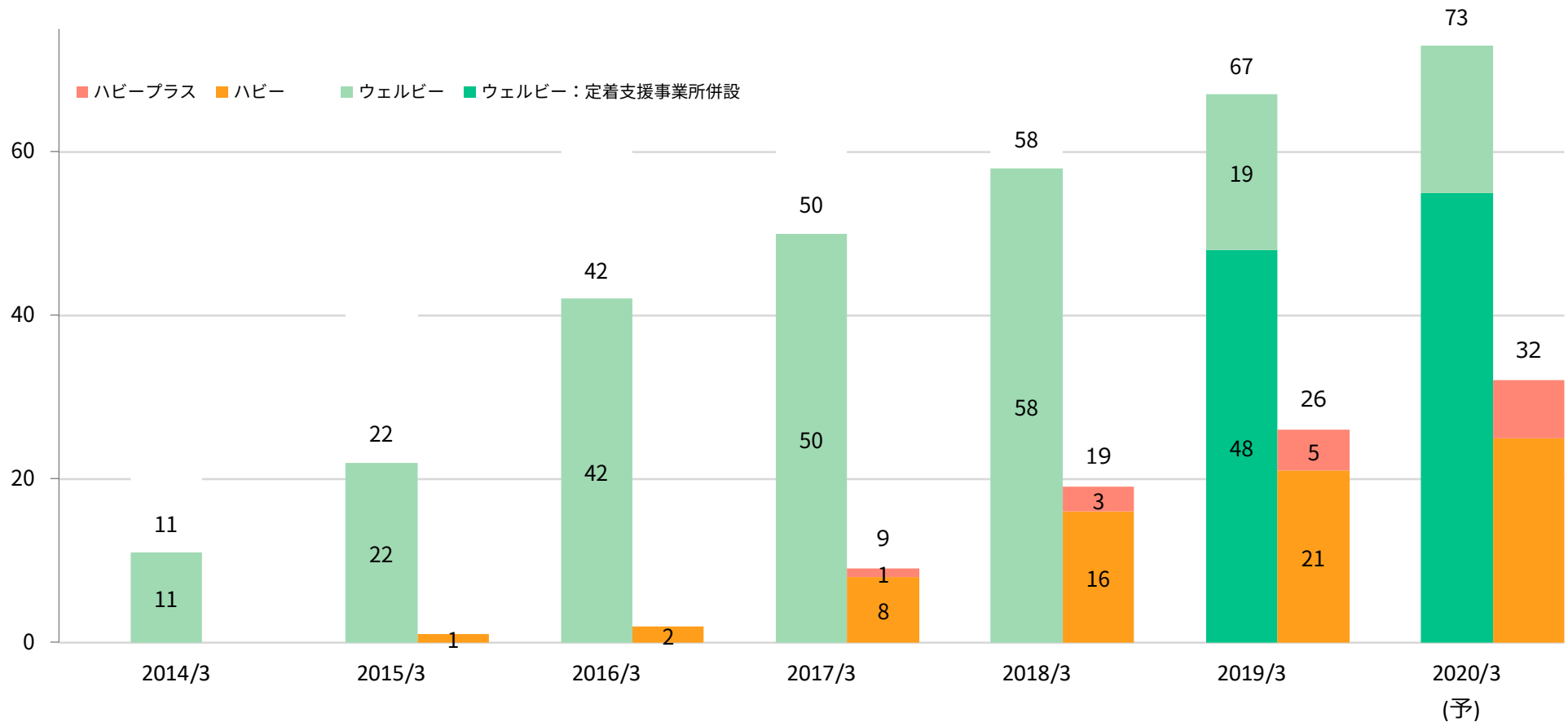
### 営業利益 / 営業利益率



■ 2020年3月期は、主な開設予定として、就労移行支援事業所 **6センター**、療育事業所 **6教室**

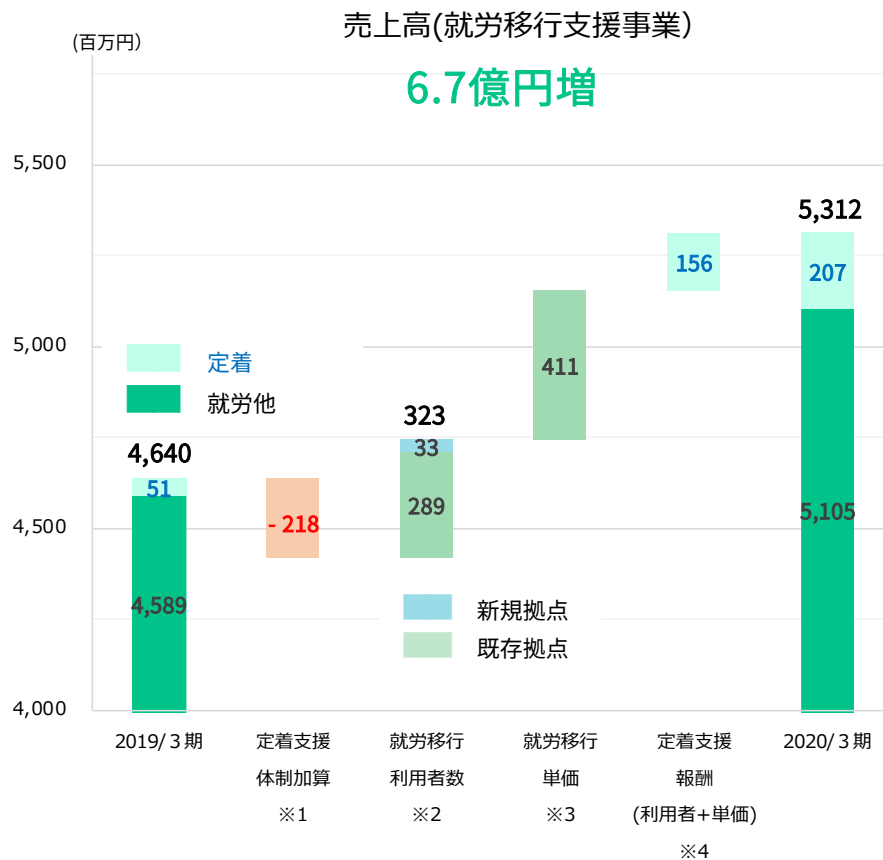
- ✓ 期末時点において、主要3事業(ウェルビー、ハビー、ハビープラス) で、計105拠点を運営の見通し
- ✓ 就労**定着**支援事業所については、要件が整い次第、順次開所をすすめていく

主要事業所の拠点数推移



## ■ 就労移行支援事業においては、14%の売上増を予想

- ✓ 利用者数は、堅調な増加を見込む
- ✓ 単価は、2019年3月期と同等以上の定着実績を残せたため、基本報酬が上昇



※1 2018年4月から9月まで、就労定着支援事業開始までの準備期間として、従来の「就労定着支援体制加算」の2分の1を取得することができました。2020年3月期は取得できないため、この加算分はマイナスとなります。

※2 就労移行支援事業所においては、利用者数の堅調な推移を見込んでおります。

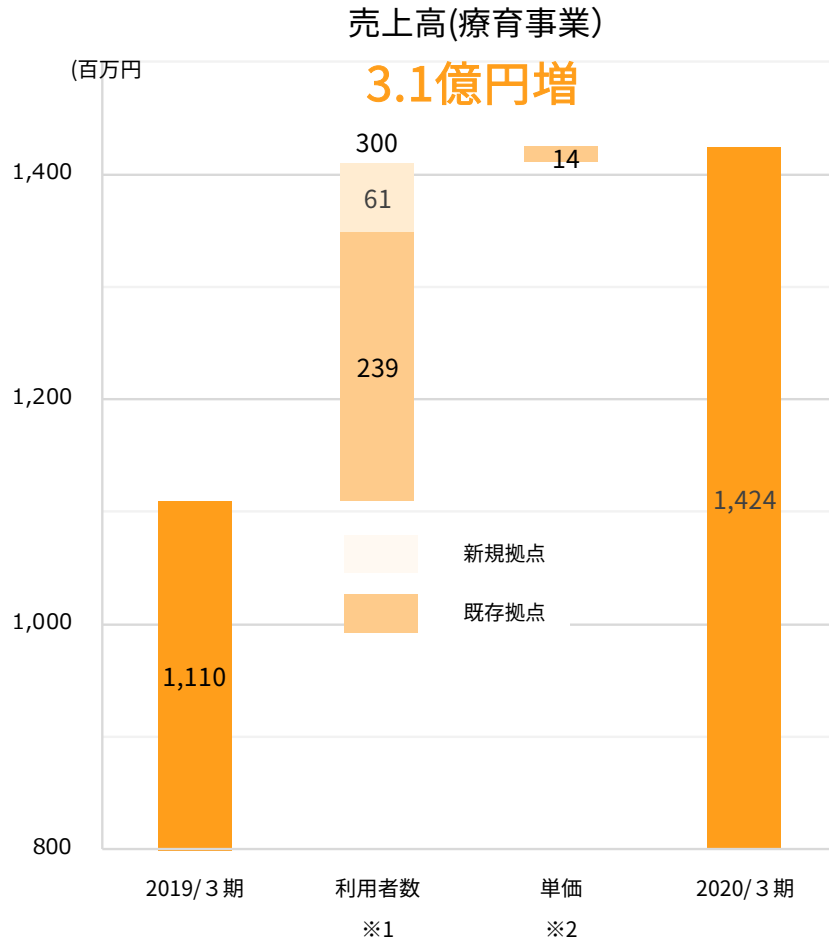
※3 就労移行支援事業所においては、6カ月職場定着ができた利用者数に基づいて基本報酬が決定されますが、多くの事業所において2019年3月期と同等以上の実績を残せたため、基本報酬は上昇しました。

※4 定着支援事業所においては、2019年3月時点で48か所を開所しております。未開所の事業所についても、要件が整い次第(就労移行支援事業所で3人の就職者)、順次開所をしていく予定です。利用者数及び単価については、事業所ごとに、前年度の実績や直近の就職者数、定着者数等に基づいて見積もっております。

※上記の売上高の増減要因分析におけるそれぞれの項目は、簡易的に算出した内部管理用の参考値です。

■ **療育事業**においては、28%の売上増を予想

✓ 利用者数は、堅調な増加を見込む



※1 新規事業所における集客に加えて、既存事業所においては稼働率の維持と向上につとめ、**順調な利用者数の増加**を見込んでおります。

2018年4月の報酬改定において、ハビー(児童発達支援事業所)においては、保育士等の有資格者や児童指導員等を人員基準で定める人数より多く配置した場合に取得できる「指導員加配加算」が拡充され、**最大で2名分まで評価**できるようになりました。

※2

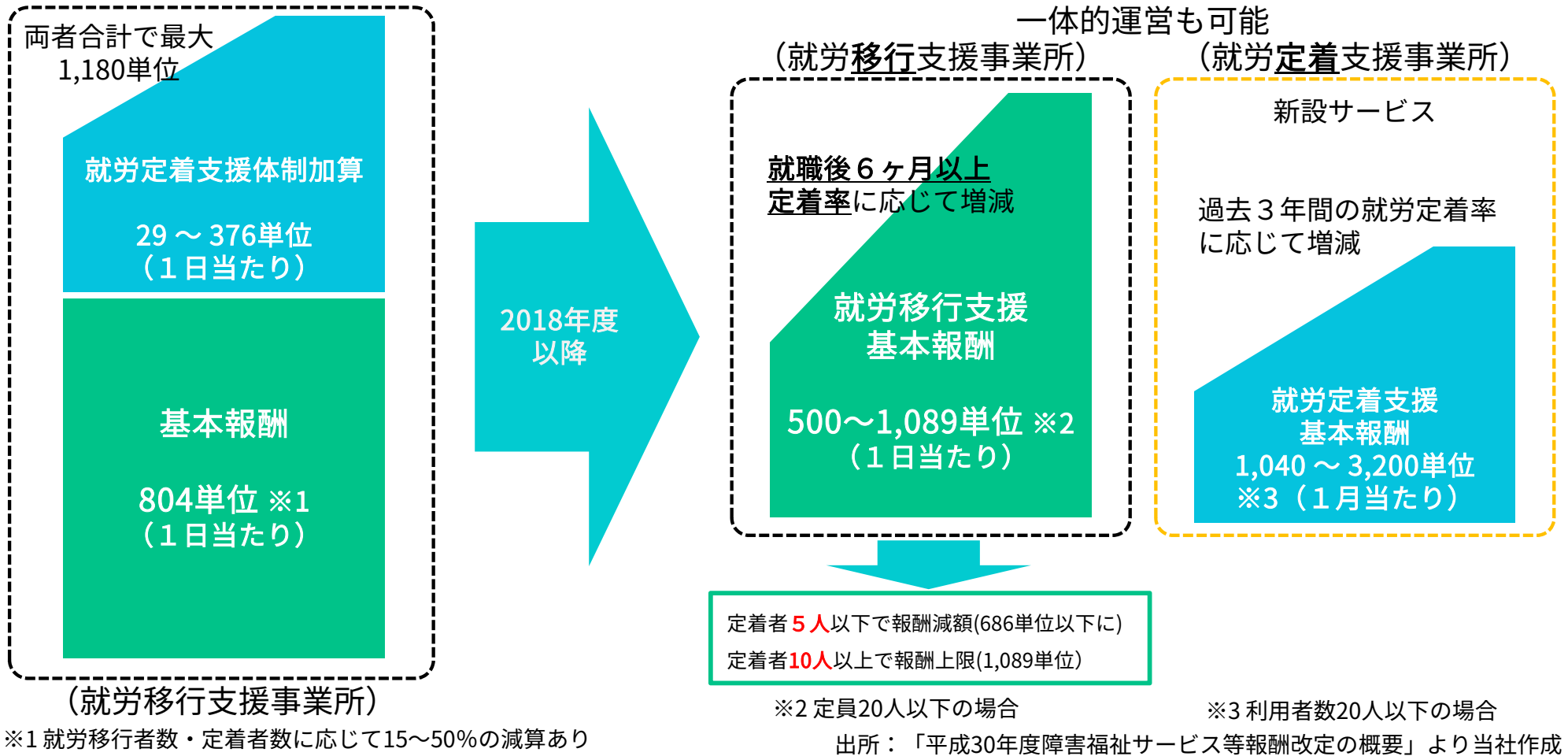
(従来)		➔	(2018年4月以降)	
児童指導員等	195単位		専門職員(保育士等)	209単位
指導員	185単位	児童指導員等	155単位	
		その他の従業員	91単位	
			<b>最大で 418単位</b>	

今後予定している児童指導員等の採用も加味しながら、事業所ごとに利用単価を見積もっております。

※上記の売上高の増減要因分析におけるそれぞれの項目は、簡易的に算出した内部管理用の参考値です。

## ■ 2018年の障害福祉サービス等報酬改定（就労移行支援事業）

- ✓ 従来の「就労定着支援体制加算」が廃止となり、「就労定着支援サービス」が新設
- ✓ 就労移行支援の基本報酬は、定着実績に応じて増減



就労移行支援事業所においては、6ヶ月以上定着者を毎年コンスタントに輩出することが重要

就労定着支援事業所においては、効果的な支援を実施し、就労定着率を高めていくことが重要



- 2019年3月期は、合計**7.2円**の配当を実施。当初予想からの増益の結果、期末配当は、**1.2円を増配**
- 2020年3月期は、目標配当性向20%を維持し、**8.8円**を予定

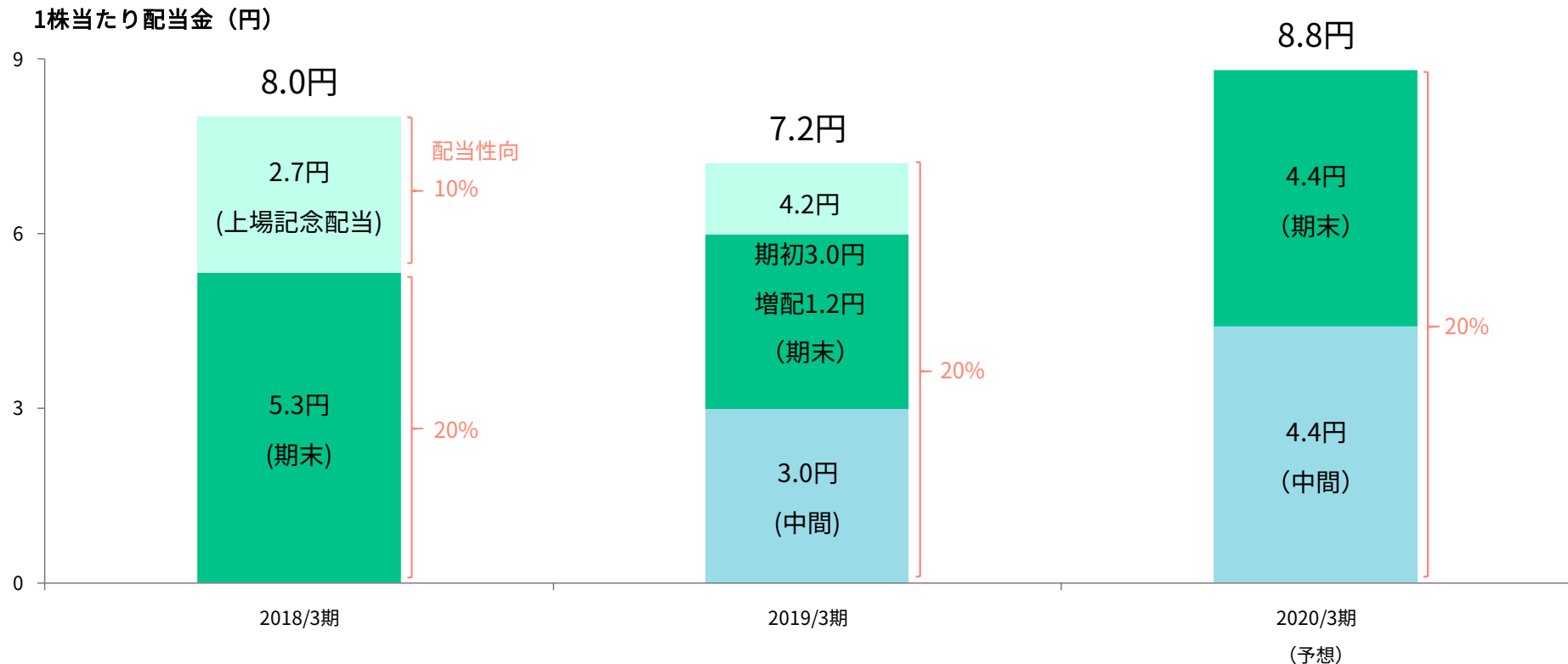
### 配当政策：

長期に亘る安定的な経営基盤の確保を目指し、業績に応じた適正な利益配分を継続的に実施

健全な財務体質の維持、将来の事業拡大のための、**内部留保の充実**

各期の経営成績、財政状態を**勘案**

**目標配当性向：20%**



※1 2018/3期においては、株式分割の影響を補正しております。また、東証マザーズ上場記念として配当性向10%分を増配しております。

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を当社の許可なく複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。

## 【お問い合わせ先】

### ウェルビー株式会社 IR担当

TEL : 03-6268-9542  
FAX : 03-6268-9543  
e-mail : [ir@welbe.co.jp](mailto:ir@welbe.co.jp)  
URL : <http://www.welbe.co.jp/>

